

令和5年度第2回大田区再犯防止推進会議 議事録

《日時》 令和6年2月29日（木曜日）午前10時から11時30分

《会場》 大田区役所本庁舎5階 特別会議室

《議事》 大田区における再犯者に係る令和4年の状況
再犯防止に係る取組・寄り添う更生保護活動紹介
意見交換

《参加委員》

大田区再犯防止推進会議委員

大田区保護司会	会長
大田区保護観察協会	会長
大田区更生保護女性会	会長
大田区自治会連合会	会長
大田区社会福祉協議会	会長
大田区民生委員児童委員協議会	会長
大田区青少年対策地区委員会会長会	会長
おおた社会福祉士会	会長
おおたTSネット	代表

庁内連携部署

総務部	総務課長 人権・男女平等推進課長 経理管財課長 生活安全課長
福祉部	障がい者総合サポートセンター所長 福祉支援調整担当課長 子ども生活応援担当課長 高齢福祉課長 障害福祉課長 自立支援促進担当課長
健康政策部	生活衛生課長
まちづくり推進部	住宅担当課長
教育総務部	指導課長 教育センター所長

進行：

1 議事要旨

(1) 大田区内の再犯者に係る状況について、令和4年の数値をもとに事務局から説明があった。

《資料》 大田区における再犯者に係る令和4年の状況

(2) つづいて、再犯防止に係る取組・寄り添う更生保護活動紹介について、大田区保護司会会長から講話があった。

《要旨》

- ・更生保護とは、犯罪をした人や非行少年が再び事件を起こすことのないように、地域社会の中で指導を行ったり、相談に乗ることを通じ、その再犯を防止し立ち直りをする支援のこと。
- ・保護司は法務大臣から委嘱を受け、犯罪をした人や非行のある少年の、立ち直りを支援するボランティア。無給で活動を実施。
- ・保護観察官が非行少年の処遇計画や面談指導を実施、保護司は観察所からの資料を基に、対象者に接触し、処遇活動と地域活動、生活上の助言等を行う。
- ・大田区更生保護サポートセンターにて、「薬物乱用防止プログラム」を毎月第3土曜日に実施。(保護観察所が主導)
- ・居場所や出番がないことが再犯率が高い要因となっている。
- ・大田区では令和3年3月に「大田区再犯防止推進計画」を策定。当計画は人に対する施策により取りまとめており、法務省からも非常に高い評価を得ている。
- ・本計画を推進するにあたっては、保護司のみならず、地域社会との緊密な連携が欠かせない。犯罪や非行を防止し、誰もが安全で安心して暮らせる地域社会の構築のため、行政と本日ご臨席いただいている関係機関及び地域住民の積極的な関与が重要である。
- ・大田区保護観察協会は、保護司や更生保護関連団体が更生保護活動をするにあたって、資金援助を実施している。ぜひ質の高い勉強と行動をしていただきたい。
- ・大田区更生保護女性会は青少年の健全育成のため、学校や児童館で啓発活動を、毎年8月には池上本門寺で更生保護の広報の為、盆踊りを実施している。
- ・おおた社会福祉士会は区内に在住・在勤の社会福祉士により構成しており、毎月1回、定例会や学習会を実施している。主な活動は福祉の相談援

助業務で活動分野は学校や病院、社会福祉協議会、法律事務所、ハローワーク、刑務所など多岐にわたる。

2 意見交換

《主な意見》

- 再犯をしてしまう人について、要因は様々あると思われるが、「生きづらさ」をもって社会の中で犯罪を犯してしまう。矯正施設に入所の手続きの中にある、困難を抱えた人に注目をし、司法の場面でも司法と福祉の連携を深め、理解を深めていくべきである。
- 困難さや生きづらさを抱えた人と伴走していくことが、執行猶予期間・仮釈放期間を安全に暮らしていく励みになると思う。
- 薬物乱用や万引き防止のために、近年ネット等で強いメッセージ性のあるものが掲示されていることがあるが、立ち直ろうとしている人を委縮させる、あるいは傷つけてしまうのではとの懸念がある。
- 近年、少年少女による「市販薬への依存」が社会的に申告な問題になっている。周りの人や社会が救ってあげられず、負のサイクルが起こってしまっている。起こってしまうまでの背景や事情までは報道等で届けられていないので、SOSが出せない、やってしまった人が悪いというイメージがついてしまい、生きづらさを抱えた人が増えていると思う。そのあたりに着目して、区としても何か取組ができれば再犯防止につながるのではと思う。
- 色んな課題や生きづらさを抱えた方々へ、少しでも協力できるよう努めたい。
- 犯罪の背景や困ったこと、助けが必要な子供たちがいたら、どう対応するか、小中学校が連携した教育を推進できるよう各学校に指導・助言をしていきたい。
- 保護司会並びに関係団体の日頃の活動に大変敬意を表したい。
- 自治体においても、毎年実施される“社会を明るくする運動”をはじめ、地域の子供たちの居場所づくりや、地域の人たち・子供たちが安心安全に暮らせるように協力していきたい。
- 再犯防止には様々な角度からアプローチし、息の長い支援が必要との認識を共有できた。